



やまこし



3月村民カレンダー

1 (金)	・地区伝達料理講習会 (本巻)	🍴
2 (土)	・やる気おこし・トシオ賞授賞式 午後1:30~ 村民会館	🍴
3 (日)	・古志高原スキー場営業最終日	
4 (月)	・地区伝達料理講習会 (橋本)	
5 (火)	・年金定例相談日 村民相談室 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00 なごみ苑 ・配食サービス ・地区伝達料理講習会 (小松倉) 資源ごみ (ペットボトル)	
6 (水)	・地区伝達料理講習会 (竹沢)	
7 (木)		
8 (金)	・中学校卒業式	
9 (土)	・青空ぼうけん塾 午前9時 村民会館	
10 (日)		
11 (月)	・地区伝達料理講習会 (梶金)	
12 (火)	・心配ごと相談 午後1:00~4:00 なごみ苑 資源ごみ (容器包装プラスチック類)	
13 (水)	・地区伝達料理講習会 (間内平・山中・曹蒲)	
14 (木)	・フッ素塗布 歯科診療所 資源ごみ (空缶・空ビン)	
15 (金)	・すくすくチャイルドの会	
16 (土)		
17 (日)		
18 (月)		
19 (火)	・心配ごと相談 午後1:00~4:00 なごみ苑 ・配食サービス 埋立ごみ (埋立プラスチック類)	
20 (水)	・小学校 終業式	
21 (木)	春分の日	
22 (金)	・小学校 卒業式 ・中学校 終業式	
23 (土)	・古志の火まつり 午後1:00~7:00 種苧原 四季の里・古志	
24 (日)		
25 (月)		
26 (火)	・小・中学校離任式 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00 なごみ苑 資源ごみ (容器包装プラスチック類)	
27 (水)	・保育所 終了式	
28 (木)	埋立ごみ (金属・ガラス・陶器類・不燃粗大)	
29 (金)		
30 (土)		
31 (日)		
※ 🍴 古志高原スキー場ナイター日		

ななこっちゃんアイドル

ありさ 有紗ちゃん



平成11年9月26日生まれ 一竹 沢一
佐藤 和幸・綾子さん

赤ちゃんの頃はよく男の子に間違われてたけど、今ではすっかり女の子らしくなっちゃって、ままごと遊びにはまっているの。でも、やんちゃな私は時々、お姉ちゃんを泣かせて困らせています。



未来へジャンプ!

山古志中学校・卒業生



- 今月の内容
- ☆村政懇談会 2P~3P
 - ☆第四次総合計画 4P~5P
 - ☆スナップショット 6P~7P
 - ☆お知らせ 8P~9P

発行/山古志村役場

〒947-0204新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙四六一

電話(0258)591-1111
FAX(0258)591-1111

編集/総務課 ●印刷/大川印刷株式会社

編集後記
二十一世紀最初のオリンピック・ソルトレイクシティ冬季オリンピックが開催されました。日本とは時差があるので、生中でテレビ放送を見て寝不足になった方も多かったと思います。期待していた日本勢は残念ながら結果に終わりましたが、見ていて強く感じたことは「世代交代のうまくいっている国とうまくいっていない国があるな」ということです。
どんなことでも世代交代というのは難しいことだと思います。しかし、これがうまくいくとよい方向に向かっていくと思わうのですが……

人口の動き ■人口2,352人(-4) 男1,180・女1,172 ■世帯数696(-2)
(14. 1. 31現在) ■1月中のうごき □出生3人 □死亡2人 □転入2人 転出6人

村政懇談会

一月十七日から二十四日にかけて村内十ヶ所で村政懇談会が行われましたので、詳細についてお知らせします。

★村長より

現在、村民の皆さんが最も關心のある問題が市町村合併についてのことだと思えます。

この市町村合併は、国が市町村合併の特例に関する法律を平成十七年三月までの期限立法で制定し、全国に三、〇〇〇ある市町村を一、〇〇〇程度にして、行政サービスの向上と効率化を目指すために行うものです。ただし、「それぞれの市町村の自主的な判断による推進を」というのが国の立場なのですが、その裏には、国の危機的な財政状況があります。この合併特例法の国の指導を受けて、県では昨年の二月に市町村合併に関する要綱を市町村・県民に示してきました。内容としては、「現在の県内一市町村を二市の市・町に再編し、行政サービスの向上と効率化を目指していく。」というものでした。その要綱で

は、山古志村は長岡市を中心とした中核都市を目指す七市町村の枠組みに入りました。県も国と同じように、「それぞれの市町村の自主的な判断による推進を」というのが基本方針であります。

村では以上のようなことを受けて、議会や庁内で研究を重ねてきました。そんな中、長岡市長からの呼び掛けもあり昨年の十二月五日、長岡地域市町村合併研究会を発足し、議会からも承認をいただいた上で、この研究会に私が参加することになりました。この研究会には、市町村長会議・助役会議・担当課長会議の三部門で構成され、それぞれ一ヶ月に一回程度の割合で開催されます。合併研究会という合併を前提とし、推進しているように聞こえますが、この会の意義は合併の是非を含めて約一年をかけて研究していくものであり、平成十五年三月までには、それぞれの市町村が今後の方向を決定していくものであります。これと並行に庁内でも係長以上、課長職を含めた研究会をたちあげ、合併をしない場合・した場合の行政サービスのメリット・デメリット等についての情報を精査して、議会とも相談しながら村民の皆さん

に、提供していきます。そして、皆さんからも考えていただき、山古志村が、村民が幸せに、そしてより良い方向に進めるようにしたいと考えておりますので皆さんのご理解とご協力をお願いします。

現在、村の予算は約二億二千万で推移しており、新年度についても約二億円の一般会計予算になるものと思えますが、マスコミ等の報道でご存知のとおり、人口五万人以下の規模の市町村に対する交付税の減少率が特に多くなっています。山古志村も例外ではなく、交付税が減額をされています。ピーク時には一億数千円あったものが、新年度はおそらく一億一千万円程度になるだろうと考えています。また、村民体育館や福祉センター・なごみ苑の借金の返済が平成十七年をピークに大きな財政負担になってきます。そして現在、水道事業を懸命に行っています。この借金の返済が開始されると歳出に占める公債費の割合が二五％を超えるのではないかと危惧しています。交付税については、まだ勉強不足でつかみきれないのが現状です。そのことをふまえ、小泉政権が掲げている「聖域なき構造改革」では、国民等しく痛

村政に関すること

◆ 後継者対策について、どのように考えているのか

村長 これから何が有効なのかを調査していきたい。第一歩ではないが、白紙の状態から考えていきたいと考えている。そうしなければ、前例踏襲型になるおそれがある。例えば、以前に若者定住に関してアパートを建設するのが有効ではないかという意見があったが、私自身としては、アパートが有効なのか。あるいは宅地で一軒家が有効なのか。また、建設後はどう活用していくのかも考えていかなければならないと思うので、新しい発想で取り組んでいきたい。また、嫁問題についても、結婚の形態が変わってきていることもあり、今までのような考えが通用しない面もある。その辺りも含めて、これから考えていきたい。

Q 漁協について、赤字があり、賦課金を組合員から納めているが、その後役場が補てんしてくれるのか。また、錦鯉についてどのように考えているのか。

村長 漁協については、赤字があり、賦課金を組合員から納めているが、その後役場が補てんしてくれるのか。また、錦鯉についてどのように考えているのか。

含めた評価をすることによって村民のためになる事業を自信を持って推進すること。以上の四段階のお願いをしました。私自身は皆さんの声を素直に聞くこと。そして、市町村合併を含めて私自身が強くなること。このことは皆さんの後押しがなければ出来ないことですので、ご理解とご協力をお願いします。

市町村合併に関する質問・意見

◆ できるなら合併はしたくない。合併した場合、端っこ扱いされてサービスの低下が心配だ。ただし、交付金の減少もあり税収も少ない訳だから、そのあたりも考えて欲しい。

◆ 合併した場合、人口が全体の二〇〇の一にしかならないようだが、この地域の意向は通るのか。また、議員はどうなるのか。将来的に一番の心配だ。

◆ 他の地域はもつと進んでいる。日程的に厳しいのではないかと。また、こういうものは声なき声を拾って欲しい。説明会だけではなく、アンケートや住民投票も考えてもらいたい。そして、村長にはこういう

Q 高齢者対策について、村独自の施策など、どのように考えているのか。

村長 山古志村は残念ながら全国平均の二十五年度程度先を進んでいると考えている。村独自の施策を立てるには財政的に苦しい状況である。村としては、現在、体の不自由な方への施策が優先していて、生きがいなどの心のケアに対する施策は遅れていると感じている。インターネット等をもっと簡単に利用できるようにして、そういったものを活用して一方通行になるのではなく、相互の交流ができる中から作っていきたくと考えている。これから、保健福祉課や社会福祉協議会なども連携して、取り組んでいきたい。

んな状況で合併するのはどうなのか。また、除雪に関してもこれまでと同様に出来るのか、非常に不安だ。

◆ 小泉内閣の構造改革の一つで「あめとムチ」の政策だと言っているが、合併しなかった場合、「ムチ」の部分、より厳しい財政状況になるのではないのか。

◆ 村の産業に関して、例えば錦鯉の世界では「山古志村」は非常に大きなネームバリューになっている。また、牛の角突きにしてもそうだ。合併により「山古志村」の名前がなくなるのは大きなダメージになると思う。

◆ 合併に関してはいろいろな問題があり大変な事だと思いが、手遅れにならないようにしてもらいたい。

◆ 合併に関してはまだまだ情報不足であり具体的な意見等が言えないが、自分達も、そして村も生き残っていくためには、村民もできるだけのことはやってみなければならぬと思う。そのためにも村長には強いリーダーシップを持って臨んでもらいたい。

◆ 近隣の地区、例えば小千谷市十二平や長岡市蓬平ではどのように考えているのか。

◆ 道路事情等を考えると、こ

第四次総合計画

今月号で、最後になりました。今月は「第二部・基本計画、第五章・産業の振興」の続きと「第六章・計画の推進と行財政の合理化」です。

第四節 工業

〔現況と課題〕

本村の工業はほとんどが電気通信部品等の関連企業であるが、そこに安定した就労の場を求め、その者も多い。このため、就労機会の拡大や所得水準を高めるための企業の育成強化が必要である。しかし、近年生産拠点の海外シフトなどの経済環境が大きく変わり、その動向が懸念されるが、空気のきれいな本村に合った企業の育成・誘致を積極的に進めていく必要がある。

〔基本方針〕

地元企業の育成強化を図り、企業誘致を積極的に進め、ベンチャー企業の支援を行う。

〔基本計画〕

商工会を中心とした指導体制強化と既存企業の育成に努める。また、水と空気のきれいな本村に合った、電子産業や精密機械を誘致し、固定資産税の減免やアクセス道路を整備する。

第五節 商業

〔現況と課題〕

本村の商業は、店舗数二八、販売額は九億八千万円余りとなっている。交通網の整備が進み、近隣市町村に都市型大店舗が整備されており、住民の消費行動も大きく変化している。これらに対応するため、店舗改善や経営意識の高揚、経営指導体制の強化を図っていく。また、観光産業との連携を強め、地域特産物の開発・販売促進に努める。

〔基本方針〕

商工会を中心とした指導体制の強化と、経営合理化・近代化を図る。また、観光産業との連携を強め、地域特産物の開発・販売促進を図る。

〔基本計画〕

① 共同仕入れ等による経営合理化の推進と気軽に立ち寄れる総合的な店舗の促進する。また、商工会を中心とした指導体制の強化を図る。
② きのこと、そば、豆、米等、地域の特産物の開発・商品化への創意工夫と販売促進用のパンフレットの作成、販売ルートの確立を図る。

第六節 観光

〔現況と課題〕

本村の観光は、国の重要無形文化財指定の「牛の角突き」泳ぐ宝石「錦鯉」村の観光拠点である自然休養地「四季の里古志」あまやち会館を中心とする年間十五万人の入込みがある。また、最近では棚田を中心とした美しい農村風景が写真愛好家を中心にクロウズアップされ、その価値が全国的評価を得ている。「手掘り隧道」の存在等ますます観光客が増大するものと予想される。これらの観光資源を有機的に連結し、併せて農業等地域産業による所得向上を図るため、観光事業の一体化の推進など関係者を一堂に会した協議機関の設置等により、より効果的な観光施策の振興に努める。

〔基本方針〕

観光施設等の整備・充実及び地域産業と観光の連携による村民所得の向上と美しい農村景観づくりの推進を図る。また、広域観光との連携及び関連事業の効率化と一体化の推進を図る。

〔基本計画〕

① オートキャンプ場等、自然休養地に結びつけた事業を展開し、「四季の里古志」の充実を図る。
② 錦鯉による国際交流のための組織化及び交流センターの設置を図る。
③ 体験型交流ツアーを推進する。

第七節 雇用対策

〔現況と課題〕

本村の就業人口は農家離れが進んでおり、過去十年間に第二次・第三次産業が大幅な増加に なっている。若者の定着を図るためには、雇用機会の確保を積極的に進めなければならない。村内の事業所の雇用は増えているが、その数は少なく女子就労型が多いなど、いくつかの課題はある。また、長岡市等近隣都市への通勤者は年々増加しており、除雪体制充実によりこの傾向は一層進むものと予想される。

〔基本方針〕

若者が定住できるような、村内産業の振興や優良企業の誘致に努める。また、道路整備・除雪体制の充実による通勤機会の向上を図る。

〔基本計画〕

④ 関牛場の施設整備をし、ブナ、はぎ等自然景観の保全及び花卉植栽等の推進による農村風景づくりの促進を図る。
⑤ 観光資源としての文学碑の建設や石仏等の集約をする。また、自然景観、棚田、手掘り隧道等を活用したコースづくりや村民が一体となる村まつりを創設する。
⑥ 地域特産物の開発・販売の促進を図る。
⑦ 錦鯉、牛の角突き、宿泊施設等観光関連事業の一体化を図るため、観光を総合的に推進する協議機関を設置する。

第六節 計画の推進と行財政の合理化

〔現況と課題〕

村内産業の振興や優良企業の誘致に積極的に努め、雇用機会の確保を図ることは当然であるが、Uターン・Iターンによる人口の定着を図るためには、道路整備等通勤機能を高めるとともに、近隣都市の雇用機会の確保にも配慮する必要がある。

〔基本方針〕

若者が定住できるような、村内産業の振興や優良企業の誘致に努める。また、道路整備・除雪体制の充実による通勤機会の向上を図る。

〔基本計画〕

① 行政需要の変化に対応した組織機構の改革とプロジェクトチームの活用を図る。また、外郭団体との機能分担の適正化を図る。
② 行政事務の見直しを行い、簡素化・減量を図る。そのためのOA化を図る。また、職員意識改革と能力開発のために研修の充実を図る。
③ 財政運営適正化計画を策定し、効率的な財政運営を行う。
④ 自主財源の確保に努め、国県の補助事業等を積極的に取り入れる。また、村債の発行については十分留意する。
⑤ 村の役割分担、事業の費用対効果等について検討し、事業の目的等についてゼロベースから見直しを行う。また、行政改革を進め、徹底した経常経費削減を図る。

第一節 住民参加の推進

〔現況と課題〕

住民参加の推進には、住民と行政が一体となり取り組む必要がある。村民の自主的・積極的な行政参加が不可欠である。村では広報を月一回発行し、行政施策の周知を図っている。また、集落等からの要望など住民の声が反映されるように努めているが、とかく行政主導になり

〔基本方針〕

運営を行い、財政の健全化を図る。
④ 増大している行政需要に対応し、事務事業の見直しを行い財政改革を進め、コスト意識を持って経常経費の削減を図る。

〔基本計画〕

① 行政需要の変化に対応した組織機構の改革とプロジェクトチームの活用を図る。また、外郭団体との機能分担の適正化を図る。
② 行政事務の見直しを行い、簡素化・減量を図る。そのためのOA化を図る。また、職員意識改革と能力開発のために研修の充実を図る。
③ 財政運営適正化計画を策定し、効率的な財政運営を行う。
④ 自主財源の確保に努め、国県の補助事業等を積極的に取り入れる。また、村債の発行については十分留意する。
⑤ 村の役割分担、事業の費用対効果等について検討し、事業の目的等についてゼロベースから見直しを行う。また、行政改革を進め、徹底した経常経費削減を図る。

第二節 コミュニティ活動の推進

〔現況と課題〕

行政が取り組んでいる施策や情報を村民に知らせる広報活動を充実させなければならぬ。また、村民との対話により、村民の創造力や提案を掘り起こし、積極的な住民参加を得て、村政に対する村民の理解のもと、一体となった村づくりを推進していく必要がある。

〔基本方針〕

行政施策を正しく伝えるため、広報活動の充実を図るとともに、村民の声を反映させるため、公聴活動の充実を図る。また、村民参加による公正で開かれた村政の推進を図る。

〔基本計画〕

① 幅広く情報収集し、親しみやすく読みやすい「広報やまこし」の紙面づくりに努める。また、ホームページを利用し、村内外への情報発信を行う。
② 行政懇談会やアンケートなど、村民との対話により村民ニーズを把握し、村政に反映させる。
③ 村政に関する情報公開を求める村民の権利を明らかにし、住民参加による公正で開かれた村政推進のため、情報公開条例により情報を開示する。

第三節 行財政運営の合理化

〔現況と課題〕

社会経済情勢の変化等によって行政需要が多様化・複雑化し、介護保険の導入などもあり、事務も増大している。村でも国土調査、簡易水道事業が進んでおり、さらに地方分権の進展により行政需要の増大が懸念される。行政改革大綱を定め、事務事業の見直し、定員管理の適正化、民間委託などを推進してきた。しかし、定員管理面で見ると民間委託や統廃合により職員数削減を図ったが、水道事業等によりほぼ同数で推移している。

〔基本方針〕

地域住民による村づくりの推進に努め、文化・スポーツ団体等の組織づくりとリーダーの育成に努める。また、村民主体のイベントづくりを推進し、村民会館・体育館の利用促進に努める。

〔基本計画〕

① 地域自治活動を支援し、集

全日本総合錦鯉品評会

山松養鯉場作出の
大正三色が優勝!

一月二十六日(廿)二十七日(廿)に東京流通センター(東京都大田区平和島)で行われた第三十四回全日本総合錦鯉品評会で山松養鯉場(虫亀・石和錦鯉センター)作出の大正三色が見事、大会総合優勝に輝きました。鳥根県の瀧川信夫さんが出品したこの大正三色は、体長が101cmもありました。いよいよ、御三家(紅白・大正三色・昭和三色)も1mの時代に突入してきました。作出者の山松養鯉場・酒井俊幸さんは、「1mの御三家作りを目指して130cmの真鯉を親に使い改良を重ねてきました。」

- やつと目標に近い鯉が出来たと思っっています。この鯉は四〜五歳にかけて体調を崩して鱗が飛びそうになったのですが、そこから持ち直しました。こういったところが、この鯉の持っている本来の力だと感じています。これからも、より良い錦鯉作りを目指して頑張っていきたいと思います。」
- なお、村内の入賞者は次のとおりです。
- | | | |
|-----|------|--------|
| 優勝 | 九紋竜 | 五十嵐養鯉場 |
| 準優勝 | 光り模様 | 五十嵐養鯉場 |
| 一部 | 昭和三色 | 磯新養鯉場 |
| 二部 | 昭和三色 | 佐藤 啓一 |
| 三部 | 丹頂 | 川上 重昭 |



素敵な出会いを:
スキー・ナウ2002



二月十六日(廿)十七日(廿)に古志高原スキー場とあまやち会館でスキー・ナウ2002が行われました。今年も、冬大好き!スキー・スノボ大好き!!な男女二二名が集まりました。そしてスキー場でスキーやスノボを、あまやち会館でパーティの楽しい二日間を過ごしました。このスキー・ナウは今年で十二回目になりました。過去に、これがきっかけでゴールインしたカップルは十組を超えています。

ちよつと大人の
かまくらまつり

二月十日(日)に旧東竹沢小学校で東竹沢分館主催の「ちよつと大人のかまくらまつり」が行われました。グラウンドには大きなかまくらが二つと、雪燈籠が多数作られました。また、餅つきをしてきたてのお餅を雑煮やきなこ餅でおいしくいただきました。夜には、かまくら内でのミニライブや雪燈籠によるライトアップで、楽しく・美しい夜のひとときとなりました。



フランソワ・ゲルさん
来村!!

二月九日(土)にフランソワ・ゲルさんが来村されました。ゲルさんはフランスのリヨン大学の教授で、現在は日本のフランス大使館に勤務されています。また、四月から七月まで山古志村に勤務されたニコラさん、カリーヌさんのリヨン大学の先生でもあります。ゲルさんは、初めて訪れた山古志村の雪景色を見て感動されていました。



写真の左から3番目がゲルさんです。

生涯学習生涯スポーツ
村民体育館コナ

古志高原スキー場
スキーカーニバル

二月二十四日(日)に古志高原スキー場・スキーカーニバルが行われ、大勢のお客さんが訪れ大賑わいの一日になりました。また、第五回古志高原カップ兼第十六回山古志村民スキー大会が行われました。このスキー大会は、申告タイム制(前走者のタイムを参考にして、自分がどれくらいのタイムで滑ってくるのかあらかじめ申告し、いかにその申告タイムに近いタイムで滑れるかを競う)で行われ、小学生から大人まで大勢の方が参加しました。結果は次のとおりです。

- 小学生男子の部
- | | |
|------|-------|
| 第一位 | 小川 暁弥 |
| タイム差 | 二秒五八 |
| 第二位 | 田中 孝太 |
| 第三位 | 坂牧 大輝 |
- 小学生女子の部
- | | |
|------|-------|
| 第一位 | 高野 由姫 |
| タイム差 | 三秒三〇 |
| 第二位 | 青木 清恵 |



- 一般女性の部
- | | |
|------|--------|
| 第一位 | 大平 愛 |
| タイム差 | 一秒八三 |
| 第二位 | 小幡 春江 |
| 第三位 | 小川 千賀子 |
- 一般男子の部
- | | |
|------|-------|
| 第一位 | 井佐 勝敏 |
| タイム差 | 四秒九八 |
| 第二位 | 樺沢 和幸 |
| 第三位 | 佐藤 俊介 |

その他にも、雪上車やスノーモービルの試乗コーナーや巨大なチューブコースなどがあり、また、餅つきも行われ、つきた

てのお餅や焼きそば、肉まんなども販売されて、好評でした。そして、午後からはスキー&スノーボード・ショーが行われ、大斜面に作られた大ジャンプ台からスノーボーダーによる、ワンメイクジャンプが披露されました。また、スキー学校やスポーツ少年団によるデモンストレーションも披露され、大きな歓声と拍手が送られていました。



最後には、洗濯機や冷蔵庫、大型テレビなどの豪華賞品が多数当たる、お楽しみ抽選会がステージで行われました。今年の幸運の女神、スキー大会で第一位になった大平愛さんが引く当選番号に会場は一喜一憂していました。

最後に洗濯機が当選した幸運な方は長島あゆみさんでした。本人よりもお父さんが大喜びしていました。



やったね!

今年度から古志高原スキー場を村営にしました。皆さんから楽しんでもらえるように、いろいろなイベントを行ってきたいと思います。これからも、皆さんからの意見等をいただいで、営業のヒントにしていきたいと考えています。今年度の営業は三月三日までですが、今年も大勢の皆さんからスキー場をご利用いただき誠にありがとうございました。来年も皆さんのご来場をお待ちしておりますので、よろしくお願ひします。

スキー教室&
ナイターカップ
開催

今年も親子スキー教室が開催されました。毎週土曜日の午後先生から教えてもらい、みんなどんどん上手になりました。また、今年はお母さんの参加も多くて、大成功だったと思います。



また、ナイターカップも残すところ後一戦となりました。スラロームやダウンヒルなどの各種目が行われています。ナイターの明かりの中で、スピード感溢れる競技が行われています。選手の皆さんもがんばって下さい。

おいしい餃子 みんなで作ったよ!

三月二十三日(土)に青空ほうけん塾が村民会館で行われ、(南山)古志通信で研修されている中国人の方から、餃子作りを教えてくださいました。

中に入れる具も皮も全て手作りの餃子で、参加した子供達は悪戦苦闘しながら挑戦していました。中には、普段から家のお手伝いをしているのか、なかなかの包丁さばきをしている子供もいました。



「皮はこうやってのばしていきます。」

中国語を教えるももったり、子供達には貴重な経験だったようでした。



とってもおいしいよ。

なかなかの出来栄で、子供達は出来上がった餃子をおいしくいただきました。

今月、山古志中学校の生徒が中国に研修に行ってきました。初めての試みですが、自分達と違う文化を体験して何か感じてもらうればと思っています。この研修については後日、広報でお知らせします。

古志の火まつりは三月二十三日(土)

今年の「古志の火まつり」の内容・日程が次のように決定しました。

今年初めての土曜日開催になり、開場時間が正午になります。

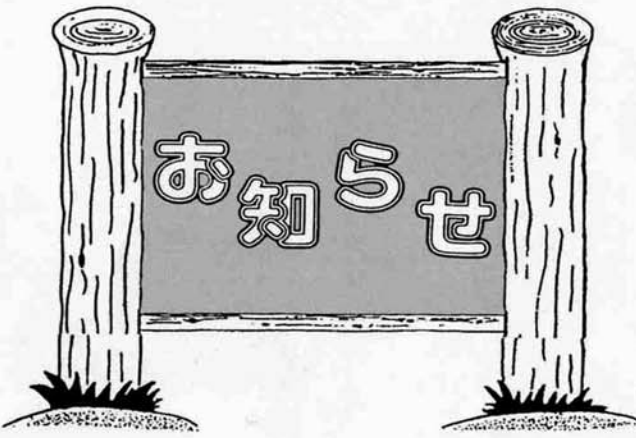
今年も、高さ二五mの日本一のさいの神を作成します。点火時間は午後七時を予定しています。



今年も、高さ二五mの日本一のさいの神を作成します。点火時間は午後七時を予定しています。

れます。伝説の舞台でもある、あまやちの池のほとりでも練り広げられる美しくも悲しい物語と、雪燈籠の灯りでライトアップされた会場で、光と炎の幻想的な世界とともに是非、ご覧になって下さい。

また、当日会場作りを手伝って、古志の火まつりに参加してみませんか?まつりに参加してみたい方は三月二十三日(土)の午前十時に、会場の四季の里・古志(種学原)にお集まり下さい。



信濃川テクノ・アカデミー 学生募集

信濃川テクノ・アカデミーでは平成十四年度入学の学生を次のとおり募集します。

- 募集定員
- ※普通課程(二年)
 - ・情報ビジネスコース
 - ・情報システムコース
 - ・マルチメディアコース
 各五〇名募集
- ※短期課程(一年)
 - ・OAビジネスコース
 - ・OA秘書コース
 各二〇名募集

■入学願書受付
三月二十八日(木)まで
■学校見学・説明会
随時行っています。
■入学資料請求先
※信濃川テクノ・アカデミー
〒947-0026
小千谷市上ノ山四一四一二
※入学ガイド・ホットライン
フリーダイヤル(無料)
0120-405070

また、IT技術と知識を身につけようとする方のために、次の制度を実施しています。
■再就職促進訓練
◎パソコン・インターネット
応用コース 一〇八時間
(受講料無料・基本手当、受講手当、通所手当支給)
※詳しいことは、信濃川テクノアカデミー・☎82-8282までお問い合わせ下さい。

◆日時
三月十一日(月)午後一時三十分から午後三時三十分
◆会場
小千谷市農業協同組合「ア

リーンパーク(小千谷市城内四一五五・☎83-3520)
◆内容
①ミシンコ繁殖促進飼料・ムックリワークについて
講師 拓洋水産工業株式会社 企画開発室・主任 牛木 宏和さん
②錦鯉の血は濃いのか?(DNA分析による近交度の調査)
講師 新潟県内水面水産試験場 養殖課・主任研究員 佐藤 将さん
大勢の生産者からの参加をお願いします。

錦鯉養殖技術研修会
新潟県錦鯉協議会では養殖技術の向上を図るため、研修会を次のとおり開催します。
◆日時
三月十一日(月)午後一時三十分から午後三時三十分
◆会場
小千谷市農業協同組合「ア

人づくり事業の申込みは4月30日までに!

次代の山古志村を担う人材の育成を願ってスタートした「人づくり修学資金貸付事業」は、今年も引き続き貸付を行いますのでご活用下さい。申し込み・問い合わせ役場総務課企画係(☎59-2330)までお願いします。締切は4月30日までです。

人づくり修学資金貸付の概要

貸付対象者	山古志村に居住する世帯の子弟で次の学校に在学している者	
学校区分	高等専修学校及び短期大学	大学
修学資金の額	月額2万円以内	月額3万円以内
貸付利息	無利息	
貸付期間	貸付決定の月から在学する学校の最短卒業年限の終期まで	
申請手続及び添付書類	1. 在学証明書 2. 健康診断書 3. 戸籍抄本 4. 保証人2名(うち父母等を1名含む)	
貸付決定	基金運営委員会で審査して貸付の可否を決定する	
貸付回数	年3回に分けて貸付する(5月・8月・12月)	
返還期間	7年(年賦返還)	10年(年賦返還)
延滞金	返還金が滞ったときは、年10%の割合の延滞金を徴収する	
返還金の減免	減額	卒業後、返還期間(7年間)本村に居住した場合、その期間に対して返還金の50%を限度に減額する
	免除	卒業後、返還期間(10年間)本村に居住した場合、その期間に対して返還金の50%を限度に減額する
	死亡または重度心身障害等で村長が認めるときは一部または全部を免除する	